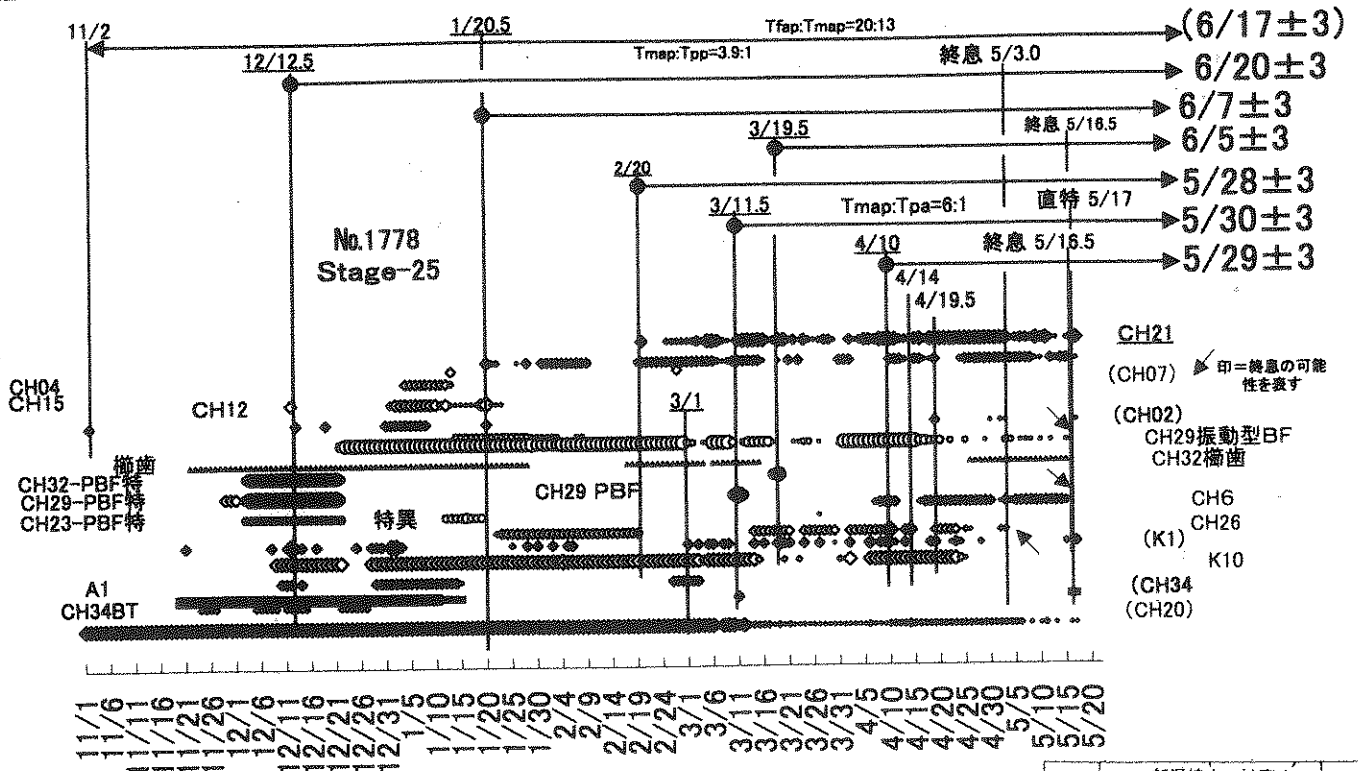


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254  
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

下続報はNo.3097地震前兆検知観測情報の一部を転載させて戴きました。ご了承下さい。続報No.261 と合わせてお読み下さい

No.1778長期前兆続報 緊急報告 6/20±以前に発生の可能性有  
継続前兆1基のみ⇒5/30± 又は 6/6± の可能性も有 今後の観測必要



No.1778長期継続特殊前兆の続報です。前情報では5/20±発生の可能性も否定はできないが、6/20±の可能性有としました。しかし前兆が次々と静穏化。6/20±以前に発生の可能性が否定できなくなって参りました。  
本日数ヶ月ぶりに特異前兆がCH34に再出現、K1も終息した筈ですが再出現、これらは直前特異の可能性も有。終息認識の前兆も今後再出現する可能性もあるため、上前兆出現図上に記した前兆関係も修正される可能性も否定はできませんが、現状6/20以前の発生の可能性を検討しますと、上図のとおり5/30±又は 6/6±の2種の可能性が否定できません。  
今後の前兆変化を鑑み、推定時期を決定したいと考えます。今後の情報にご注意下さい。

- ◆推定領域=右図斜線域付近
- ◆推定規模=M7.8±0.5
- ◆推定時期=前兆終息後推定  
最も早い可能性=5/30±3  
6/6±3  
(今後の観測で修正予定)

- ◇推定地震種=震源浅い陸域  
地殻地震(火山近傍の可能性)
- ◇推定発生時刻=  
午前09時30±1時間  
又は午後04時 ±3時間

